

## 【22\_025/技術系メルマガ】続・『目線』を決めること ～『目線』とは『覚悟』である～

〇〇さん

こんにちは、クロガキ(クロ)です。

昨日、何の気なしに(笑)「ちょっと考えてみてくださいね」とお送りしたメールですがその後すごい数の回答を返信で寄せてくださいました。

ちょっとびっくりしましたが、ありがとうございました。

個別解答するには時間が掛かりすぎってしまうと思ったので、急遽ブログで例のメールの意図と『目線を決める』事の重要性についてまとめることにしました。

▼該当の記事はコチラ▼

[https://kuro-gaki.com/blog\\_220125/](https://kuro-gaki.com/blog_220125/)

ここでは、ブログ記事に記載したことに加えて、もう少し重要なポイントを深掘しておきたいと思います。

□  
■ 『目線』は、自分の勝手な『覚悟』に過ぎないということ

常々僕は『相場は不確実である』ということを伝えているので

『目線を決めろ』という言葉に対して、違和感を感じた人もいるかもしれません。

ただそれは、「一般的な”目線” というもののイメージ」が、僕の言っているものとは少々異なるからです。

僕がいつも言っている『目線』というのは

『自分の(一貫した)”いつも通り” の視点で狙う方向と、短期足のセットアップ』

言い換えれば『今後こうなったら、いつも通りにエントリーする』という

トレードプランを前もってイメージする作業です。

決して、先の値動きを「こうなる！」と断定して予想(当てに行く)ためのものではありません。

あくまで、先の値動きがどうなるかは(予想してもいいけど)分かるわけではない。

であれば、先が見えない「原則不規則に」動くチャートに対し

いつも自分が認識する『規則性』が当てはまると思われたときにのみ

ポジションをとる、ということを『一貫して行う』ことが重要なのです。

そして、実際の値動きと『目線』が一致すれば、目標値(時間)まではしっかり保有し

『目線』と違ったのであれば、前もって計画したとおりに損切する。

このルールに則ってトレードすることで、トータルの利益が得られる事を確認するのが

『検証』であり『フォワードテスト』です。

今回は、その『検証』を行う一つの手がかりとして

【自分がきれいだと思う値動きのパターンをイメージ化すること】を目的として

皆さんに問いかけをしたというわけです。

ブログにも書きましたが、まだそのイメージがハッキリしないと感じた人は

今回の記事を参考に、自分の中で『探してみたいイメージ』を

最初はおぼろげでもいいので、絵にかいてみながらチャートからそのパターンを探す検証をやってみてくださいね。

□  
■ 基本、どんなイメージを持ってもいいけれど…

このイメージ作りを行う際に、一つだけ気を付けてほしいことがあります。

それは『目線』を決める際に

～「買い」と「売り」両方の条件を同一チャート上で考えること～

です。

『目線』を決める以上、どうしても自分の目線に沿ってトレードし、勝ちたいという気持ちが先行してしまうものです。

ですが実際には、値動きが『目線』の逆に進んだり、大まかには合っている

時間帯が合わない(LN時間に動くと思ったらNY時間だった、、、など)ことだってあります。

ですので、つい「どんな状況にも対応できるような」万能プランを作りたくなってしまうのが人情かもしれません

それをしてしまうと、迷いを消すために『目線』を決めるという、本来の目的からかけ離れたものになってしまいます。

選択肢を無駄に増やすと、それによってアチコチ目移りしてしまうことになり

結果としてロングかショートか迷いが生じたり、ロングが否定されたからと

別に準備したショートプランを無理やりあてはめて、結局両方負ける

などという事態に陥りかねません。

『目線』はあくまで、自分の迷いをなくすため

普段のテクニカルを信頼して同じ判断をする(サイコロを振る)『覚悟』を決めるもの。

ということを忘れないようにして、取り組んでいきましょう。